2014 年度　日本人間工学会関西支部春季講演会

講演 1:「島津の脳機能イメージング　～脳科学の産業応用に向けた fNIRS の活用～」
講演 2:「ヘルスケアの未来とそれを支援する工学の役割」

日本人間工学会関西支部では、以下の春季講演会を企画いたしました。会員、非会員にかかわらず、広く人間工学分野、ならびに医療・健康・福祉分野のご関係者、そしてこれから社会で活躍する学生の方々にもご参加いただければ幸いです。

［日時］　2015 年 3 月 28 日（土）
14：30～15：30　第一部　講演会
15：30～16：30　第二部　講演会
（会員の方は，13:00～14:00 の関西支部総会にもご参加ください）

［会場］　島津製作所　本社・三条工場　E1 号館 大ホール
京都市中京区西ノ京桑原町 1
http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/sanjo.html
アクセス
◎地下鉄東西線　西大路御池駅 4 番出口より　南へ徒歩 3 分
◎阪急京都線　西院駅より　北へ徒歩 10 分
※来訪の際は、正門警備室にお立ち寄りください。会場の案内をしていただけます。

［第一部テーマ］　**島津の脳機能イメージング　～脳科学の産業応用に向けた fNIRS の活用～**
［第一部講師］　四方田 聡　先生
株式会社 島津製作所 分析計測事業部 ライフサイエンス事業統括部
バイオ・臨床ビジネスユニット 分子イメージンググループ　主査
［講演概要］　当社では 1980 年代後半から近赤外光を用いた生体組織の酸素動態計測の研究に着手し、その後、脳機能計測に特化した光脳計測イメージング装置(fNIRS)を順次発売してきた。
この手法は、その非侵襲で日常の行動を簡便に計測できるという特長から、医療のみならず人間工学、ロボット工学、教育学、等の幅広い分野にて研究の裾野が広がっている。特に産業の分野では、脳活動を新たな客観的指標とした商品開発への動きもあり、最近のその研究動向を紹介する。

［第二部テーマ］　**ヘルスケアの未来とそれを支援する工学の役割**
［第二部講師］　真嶋 由貴恵　先生
大阪府立大学大学院工学研究科／現代システム科学域　教授
女性研究者支援センター　センター長
［講演概要］　超高齢化社会において我が国は，医療費の増大等，様々な課題に直面している。
そこで，全ての国民が可能な限り長く健康を維持し，自立して暮らすことができ、病気になっても質の高い医療・介護サービスを享受できるような社会の実現が重要である。しかし，それをヘルスケア（医療・健康・福祉）分野だけで独自に解決することは難しく，工学や多分野の研究シーズをマッチングさせて，協働することが重要である。本講演では，ヘルスケア分野における情報通信技術をはじめとする工学の貢献について紹介する。

参加費
日本人間工学会会員（関西支部会員含む）・学生　無料
非会員　¥500（当日受付にてお支払い下さい）

お問い合わせ先
日本人間工学会関西支部事務局　kboffice2012@gmail.com，TEL/FAX 072-839-9173